

一般講演

開始時間	講演番号	演題・発表者・所属
9:30	1	コムギにおけるUAVにより測定した植生指数と生育・収量の関係 福嶋陽* ¹ ・板谷恭兵 ¹ ・勝俣喜一朗 ² ・石川哲也 ¹ (¹ 農研機構中日本農業研究センター・ ² ドローンジャパン株式会社)
9:50	2	水稲品種「にじのきらめき」の多収条件における慣行調査による生育指標 およびUAV空撮画像より取得した植生指数の比較 板谷恭兵* ¹ ・勝俣喜一朗 ² ・澤田寛子 ¹ ・平内央紀 ¹ ・石川哲也 ¹ (¹ 農研機構中日本農業研究センター・ ² ドローン・ジャパン株式会社)
10:10	3	草型と早晚性を異にする飼料イネ品種の疎植栽培下での乾物収量 三浦恭兵*・和田義春 (宇都宮大学農学部)
10:30	4	水稲育苗箱全量基肥栽培と密苗栽培の技術融合による 苗形質とマット強度について 加藤誠* ¹ ・高橋行継 ¹ ・大橋晃市 ² ・井上恵 ³ (宇都宮大学農学部附属農場 ¹ ・ヤンマーアグリジャパン株式会社 ² ・ジェイカムアグリ株式会社 ³)
10:50	5	全量基肥栽培における肥効調節型肥料の違いが5月中旬移植「粒すけ」の 生育・収量に及ぼす影響 福永佳史*・草川知行 (千葉県農林総合研究センター)
11:10	6	千葉県の水稲種子生産における出穂期予測R1モデルの検証 及び他品種への応用可能性の検討 青木優作*・望月篤・藤代淳・宇津木育実・中村充明 (千葉県農林総合研究センター)
11:30	7	46道府県による水陸稲種子生産の2021年度の取組み 藤井みずほ*・鴨下顕彦 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
昼休み(11:50～13:20)		
13:20	8	ナガエツルノゲイトウの本田と畦畔との繁茂の関係 藤代淳 ¹ ・鈴木聡史 ² ・井原 希 ³ ・嶺田拓也 ³ ・草川知行* ¹ (¹ 千葉県農林総合研究センター・ ² 夷隅農業事務所・ ³ 農研機構)

一般講演

開始時間	講演番号	演題・発表者・所属
13:40	9	ゴマの低温発芽能は早期側への播種期拡大に役立つ 丹野和幸* (埼玉県農業技術研究センター)
14:00	10	イネ澱粉枝作り酵素BEIIbの機能欠損が発芽後生育に及ぼす影響 本田爽太郎*・青木直大・森田隆太郎 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
14:20	11	キノアの葉のブラッター細胞における元素の蓄積について 和田堅護*・高木梨也子・堀越昌織・肥後昌男・磯部勝孝 (日本大学生物資源科学部)
14:40	12	NaCl施用がキノアのブラッター細胞の数と大きさに及ぼす影響 和田堅護*・高木梨也子・堀越昌織・肥後昌男・磯部勝孝 (日本大学生物資源科学部)
15:10	13	ダンチクの耐湿性に関与する根の通気組織の形成と不定根の発生について 四ッ谷武*・村上隼・神山拓也・和田義春 (宇都宮大学農学部)
15:30	14	夏播きソバの湛水処理による減収機構の経時的解析 塚田万智*・神山拓也 (宇都宮大学大学院地域創生科学研究科)
15:50	15	中耕による雑草抑制がソバの分枝可塑性と収量に与える影響 平田裕大* ¹ ・原貴洋 ² ・村上隼 ¹ ・小林浩幸 ¹ ・神山拓也 ¹ (¹ 宇都宮大学・ ² 農研機構九州沖縄農業研究センター)
16:10	16	サトイモの節水省力型点滴灌漑栽培法の確立 大川泰一郎* ¹ ・見野百萌 ¹ ・永吉智己 ¹ ・桂圭佑 ¹ ・安達俊輔 ¹ ・本林隆 ¹ ・井上清 ² (¹ 東京農工大学大学院農学府, ² JA東京むさし)
16:30	17	気象データを活用したラッカセイの開花期予測モデルの作成 小林孝太郎*・桑田主税 (千葉県農林総合研究センター)